

東京湾・「脚立釣り体験」

江戸時代から昭和40年代まで続きながらも長年途絶え、東京湾の風物詩でもあった脚立釣りが復活！木更津沖の盤洲干潟にて体験できます。

- ◆場所：千葉県木更津市金田海岸沖
- ◆開催期間：5月～7月中旬
- ◆予約・問合せ：事務局まで(090-8700-5022 大森)
- ◆料金：8,000円／名(希望により「すだて内」釣りも可能です)
- ◆最少催行：5名(当面は、5脚で開催いたします)



江戸の後期から東京湾の干潟で多くの釣り師に愉しまれてきた特殊な釣りの方法です。干潟の浅場に木製の脚立を立てて専用の竿や魚籠を使い、今は東京湾から絶滅してしまっただと言われる警戒心の強い「アオギス」を釣ります。アオギスは又の名を川ギスとも呼ばれ河川の混じる汽水域を好んで生息していたそうです。日本最古の釣り専門書でもある「何羨録(かせんろく)」にも記載され、あの**幸田露伴**も愛してやまなかつた釣りだそうです。

東京湾では埋め立てが進み、多くの干潟を失いアオギスの餌と生息地を失ってしまつた。昭和四十年代に木更津・盤洲沖が最後と言われる脚立釣りを、アオギスは釣れないかも知れませんが、豊かな東京湾だった当時を少しでも呼び戻す為、今でも当時のままの**盤洲干潟**でこの粹な**風物詩**を復活させました。



主催：木更津金田の浜活性化協議会
【お問合せ・お申込先】
事務局 大森(電話 090-8700-5022)